

狭山茶の魅力を子どもたちに！県産茶を通じたお茶育授業

- 埼玉県では、地域農林業や食への理解の促進と県産農産物の消費拡大を図るため、県内児童を対象に、県の特産品である狭山茶に関する食育授業を実施しました。
- 日本茶インストラクター協会埼玉県支部が講師となり、狭山茶の紹介や急須を使ったお茶のいれ方実習を行い、狭山茶の魅力を県内に普及しました。
- 県内21か所で開催し、1,294名の児童が参加しました。

埼玉県



【取組の内容】

- お茶育授業の実施
 - ・日本茶インストラクター協会埼玉県支部が講師となり、県内20校で和食と狭山茶に関する授業を開催
 - ・狭山茶の製造方法や和食に関する説明の他、茶殻を使った料理の紹介や急須を使ったお茶のいれ方などの実習を実施・入間市博物館で、狭山茶の歴史の学習や日本茶の飲み比べを行うお茶育教室を開催し、日本茶に関心のある児童に対し、より深い学習を提供



日本茶インストラクターによる説明



お茶のいれ方実習

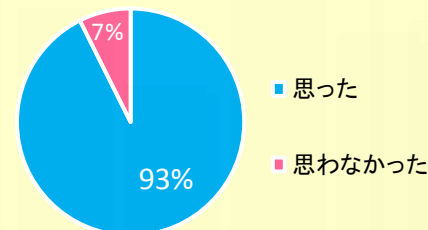
【取組の成果】

狭山茶に関する講義や急須を使ったお茶のいれ方の授業により、狭山茶などの日本茶について、児童の関心が高まりました。

また、児童が急須を使ったお茶のいれ方を身につけたことにより、家庭でも日本茶を飲みたいという児童が増え、和食や日本茶などの食文化の継承につながりました。

平成29年度授業参加児童アンケート結果

○ 狭山茶についてもっと知りたいと思ったか



○ お茶のいれ方を家でも実践したいと思ったか

